

縦書きの例

ページの本文領域 (region-body) に `writing-mode="t-b-r"` を指定して本文全体を縦書きにした例です。

文書類の電子化の方法として1986年にSGMLがISO標準となった。拡張性・構造性・正規性にすぐれた仕様であり、1990年には特許庁の電子出願のフォーマットに採用されたが、500ページを超える膨大な規約は理解しづらく、導入するにあたり初期費用がかさむといった問題点があった。

次にSGMLの機能の一部を限定して利用するHTMLが出てきたが、その仕様はパソコンのディスプレイにどのように情報を表示するのか、といった部分に力点が置かれ、文書構造の表現やコンテンツの再利用といった部分での問題点がある。

そこで文書構造がしつかり(自由に)定義でき、文書の再利用が容易なデータ保存フォーマットとしてXMLが考えられた。

XMLは文書を構成する3要素「内容」「構造」「体裁」を分離して扱うことで、情報の再利用やメディアに依存しない出力、情報の部分的利用といった部分ですぐれた特性を持っている。

部分縦書きの例

fo:block-container を使用してページ内で部分的に縦書きにした例です。

文書類の電子化の方法として1986年にSGMLがISO標準となった。拡張性・構造化・正規性にすぐれた仕様であり、1990年には特許庁の電子出願のフォーマットに採用されたが、500ページを超える膨大な規約は理解しづらく、導入するにあたり初期費用がかさむといった問題点があった。

次にSGMLの機能の一部を限定して利用するHTMLが出てきたが、その仕様はパソコンのディスプレイにどのように情報を表示するのか、といった部分に力点が置かれ、文書構造の表現やコンテンツの再利用といった部分での問題点がある。

そこで文書構造がしつかり（自由に）定義でき、文書の再利用が容易なデータ保存フォーマットとしてXMLが考えられた。

XMLは文書を構成する3大要素「内容」「構造」「体裁」を分離して扱うことで、情報の再利用やメディアに依存しない出力、情報の部分的利用といった部分ですぐれた特性を持っている。

このようにページの中に縦書きと横書きの領域を混在させることもできます。